

太宰治ゆかりコース

友人N君と旅したファン必見充実プラン



- ①奥津軽駅
↓ (20km・車30分)
- ②観瀾山公園
↓ (33km・車50分)
- ③始覚山本覚寺
↓ (5km・車8分)
- ④龍馬山義経寺
↓ (10km・車15分)
- ⑤竜飛崎観光案内所 (旧奥谷旅館)
↓ (0.5km・車1分)
- ⑥竜飛崎灯台
↓ (22km・車30分)
- ⑦小説「津軽」の像記念館
↓ (27km・車40分)
- ⑧津軽鉄道中里駅 (上り)
↓ (6.5km・鉄道10分)
- ⑨芦野公園駅下車
※太宰治文学碑・銅像
↓ (1.5km・徒歩20分)
※かなぎ町内散策
(生家・菩提寺など約2時間)
- ⑩津軽鉄道金木駅乗車 (上り)
↓ (13km・鉄道25分)
- ⑪津軽鉄道五所川原駅



②観瀾山公園太宰治文学碑
中学時代の級友N君宅へやっかいになり外ヶ浜を周遊。学生時代、N君と二人で海の岩の上でにぎり飯をほおばり、将来について語り合った岩を文学碑にした。蟹田港を見下ろしているが、不思議なことに浜特有の匂いがしない。

③始覚山本覚寺
「今別へきて、本覚寺を見なくちゃ恥です」というN君に誘われ、立寄ったお寺。N君はおかみさんの説明を聞き、熱心に質問していたと思ったら「君たちのために我慢して聞いていたんだ。僕は犠牲者だ」と。



④龍馬山義経寺
石段をのぼり、源家の紋を見つけた。「どうも津軽地方には義経伝説が多すぎる。きっと、鎌倉時代の不良青年が義経と弁慶になりきって田舎娘をたぶらかして歩いたに違いない」などと空想しながら義経寺を後にした。



⑨太宰治銅像
太宰治生誕百年に建立された。銅像が見つめる方向に生家がある。製作者が「きつと家に帰りたくても帰れなかったのでは」と太宰の思いを代弁するかのよう建立した。



⑤龍飛崎公園太宰治文学碑

⑥竜飛崎灯台
ここは国防上ずいぶん重要な土地である。私はこの部落に就いて、これ以上語る事は避けなければならぬ。

⑨芦野公園太宰治文学碑
学友・阿部合成がデザインした文学碑。不死鳥はギリシヤ神話に基づき、太宰の生まれ変わりを意味している。毎年六月十九日に生誕祭が行われている。



⑦小説「津軽」の像
目が大きくて頬が赤い人。まぶたの上に赤いほくろ。それだけしか覚えていなかったが、30年ぶりに会ったタケの印象は、幼い頃と少しも変わらなかった。
-生まれてはじめて
心の平和を体験した-



太宰治ゆかりの地
かなぎ文学散歩

生誕地東北地区の太宰治ゆかりの地をガイドと成る文学散歩です。青函「風ひき」、明治高等小学校時代の様子などを紹介しながら巡ります。紅葉気取や太宰治生誕地の時代背景も合わせて紹介します。

料金：個人2400円 (1人1200円)

申込先：かなぎ文学散歩実行委員会 (0173-53-2020)



かなぎ文学散歩
地元ガイドと一緒に太宰治ゆかりの地を巡りませんか?
※2時間2,400円・要予約 (0173-53-2020)